



2022年4月12日

住友化学株式会社

株式会社パイロットコーポレーション

住友化学とパイロット、特殊インキを用いて プラスチック製品の水平リサイクル実現に向けた共同開発を推進

住友化学株式会社（以下、「住友化学」）と株式会社パイロットコーポレーション（以下、「パイロット」）は、このたび、使用済みのプラスチック製品を同じ用途の製品に作り替える水平リサイクルの実現に向けて、プラスチック容器包装の印刷層を無色化する技術に関する共同開発を推進することといたしました。

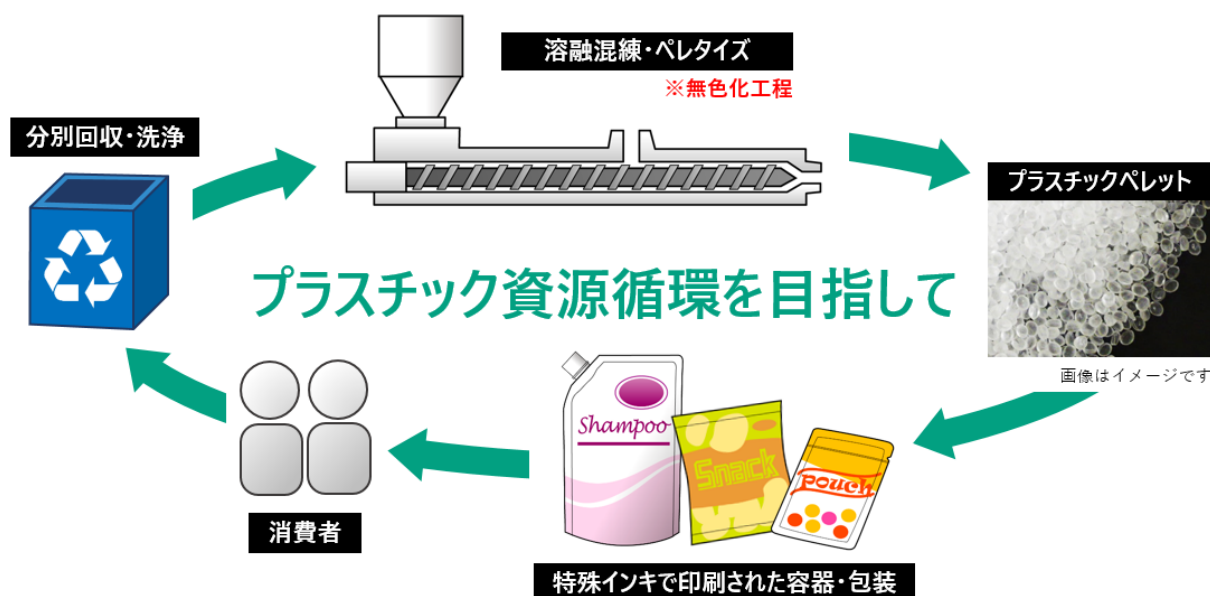
プラスチックは、私たちの日常生活を支える有用な素材として、自動車や航空機、電子機器、容器包装などさまざまな用途に用いられており、循環型社会の実現に向けて、用途に応じたりサイクル技術の開発を推進していくことが求められています。このうち、プラスチック製の容器包装については、各種印刷が施されているものが多いため、マテリアルリサイクル^{※1}を行ってもインキの色が残ってしまい、同様の用途に適用可能な品質レベルの樹脂へと再生することが困難となっています。

本共同開発において、住友化学は、これまで培ってきた樹脂設計・加工技術を生かして、インキの無色化を行う熔融混練工程を中心としたマテリアルリサイクル・プロセスの開発を担います。パイロットはグループ内のパイロットインキ株式会社において、同社が開発・保有するインキ技術を生かして、同リサイクルプロセスに適した特殊インキの開発を担います。両社が協力することで、再資源化したプラスチックの用途展開の幅を広げ、限りある資源の循環を目指します。また、両社は印刷が施された包装材料の分別・回収スキームの構築についても検討を進めます。

住友化学は、経営として取り組む重要課題の一つに「環境分野への貢献」を掲げています。その実現に向けて、他企業やアカデミアとの協業によりケミカルリサイクル技術の開発を進めているほか、マテリアルリサイクルやフィルムのモノマテリアル化^{※2}などにも注力しています。

パイロットは、環境負荷低減と循環型社会の実現へ向け、これまでも製品を通じてリユース、リサイクルなど、資源の再利用を推進することで、限りある資源の有効活用に取り組んでおり、プラスチックのマテリアルリサイクル技術を開発することもその一環です。

住友化学とパイロットは、本共同開発を通じて、化石資源使用量の削減および環境への廃プラスチック排出量の削減、さらに廃プラスチック焼却時に発生する温室効果ガス排出量の削減を実現し、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。



※1 使用済みのプラスチックを、破碎や溶解などの処理を行った後に原料として再生利用すること

※2 リサイクル性を向上させるために、製品の原料を単一素材とすること

<本件に関するお問い合わせ先>

住友化学株式会社

コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5201-0220

sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp

(インキ関係)

株式会社パイロットコーポレーション

広報部

TEL 03-3538-3794

pr@pilot.co.jp